

太子町教育委員会／令和7年1月定例会議事録

日時及び場所

- 日時 令和7年1月28日(火)
開会時間：午前9時30分
閉会時間：午前10時30分
- 場所 役場庁舎3階 第1会議室

会議に出席した者の職氏名

- 出席者
教育長 中道教育長
委員 上籾教育長職務代理者、山崎委員、池田委員、金井委員
事務局 東條教育次長、武部教育総務課長兼給食センター所長、
松岡生涯学習課長、竹井教育総務課学務指導担当課長、
神床教育総務課主事
- 欠席者
吉村教育総務課長補佐
- 傍聴者
なし

議題

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 教育長の報告
- 日程第3 諸般の報告(その他)

中道教育長

皆さん、おはようございます。

定刻になりましたので、これより教育委員会1月定例会を開催します。

まず、【日程第1 会議録署名委員の指名】をいたします。本日の署名委員は、【山崎委員】をお願いいたします。

続きまして、【日程第2 教育長の報告】について報告申し上げます。

中道教育長

1月1日、元旦初登りに町長とともに参加しました。今回は初日の出を見ることができました。

1月11日、太子町消防出初式に町長とともに参加しました。

1月13日、令和7年二十歳を祝う会を開催しました。

1月15日、南河内地区なかよし作品展を見学しました。

1月19日、第40回新春ジョギング大会を開催しました。

1月20日、山田小学校でSNSの使い方について、4・5・6年生の児童と保護者対象の講演会に参加しました。

1月24日、大阪府公立高等学校入学者選抜制度改善方針（案）説明会に出席しました。お手元に資料がありますので、4枚綴りの資料をご確認ください。これが当日配布されたすべての資料です。では、最後のページをご覧ください。

現在の小学校6年生が受検する時から、この方針で進める予定です。

まず、現在のアドミッションポリシー（求める生徒像）枠についてご説明します。4枚目の表をご覧ください。現行では、当日の受検合格者の上位90%から110%の間に入った生徒については、事前に提出された自己申告表等も加味し、アドミッションポリシー枠として合格審査対象者になるという仕組みです。つまり、この110%までに入ると100%以内でなくても、合格者としての審査対象になります。

次に、表の下部について説明します。これまでの制度から変更となる点は、まず第1手順として、アドミッションポリシー枠として各高等学校が選考を行うことです。対象者は最大50%としていますが、対象者がいなければ40%、場合によっては30%になることもあります。その審査が終わった後、当日のテスト結果と内申書を合わせて、従来通りの合否判定を行うこととなります。アドミッションポリシー枠にエントリーしなくても、通常のテストと内申評価が審査対象として進められます。これが1つ目の変更点です。

次に裏面をご覧ください。入試の日程に関する変更です。現在は特別入学者選抜と一般選抜が別々に行われています。たとえば体育科や技術系の選抜は2月後半、一般入試は3月10日前後に実施されています。この2つを一本化し、入試日は3月1日に統一したいと考えているということです。その後、約10日後に合格発表を行い、現状よりも10日ほど早く合格者の確定をおこないたいという方針です。

中道教育長

また、第2希望校の提出も可能にします。たとえば、第1希望がA学校、第2希望がB学校という場合、B学校が定員を満たさなければ第2希望が生きてきます。ただし、B学校の定員を超えた場合には第2希望の意味を成さなくなります。そのため、第2希望校の変更手続きを可能とできる制度を考えているそうです。以上が大きな変更点となります。

これについては、まだ私も先週の金曜日にはじめて聞いたものであるので、何かお気づきの点等ありましたら、いつでもお聞かせいただければと思います。よろしくお願ひします。

1月26日、太子町人権協会子どもの人権を守る部会、マジックショーに参加しました。

1月27日、大阪府市町村教育委員会研修会に参加しました。東京大学、池谷裕二教授に『学習の流儀 脳とやる気』という演題での講演でした。良い教育は、未来への社会貢献であるということ。知能を支える3つの要件の1つとして熱意があり、これが見えない学力であるとして、本町が取り組んでいる非認知能力の伸長とつながるところがありました。

以上です。

中道教育長

ただ今の報告につきまして、ご質問等ございませんか。

上籾教育長
職務代理者

山田小学校での子どもたち及び保護者に向けた SNS の使い方の講演会について、参加された人数やその様子についてはどのような感じだったのでしょうか。

中道教育長

保護者は、4年生から6年生までを対象に、複数名の参加がありました。現在は子どもたちの方が SNS を器用に使う場面もあり、大人でも理解できていない部分が多くあると思います。SNS における危険性について、大人・子ども両方の立場から非常に勉強になる内容でした。

中道教育長

その他に、ご質問等ございませんか。

中道教育長

無いようですので、続きまして、【日程第3 諸般の報告（その他）】について説明を求めます。

教育総務課
武部課長

教育総務課よりご報告いたします。

まず1点目です。次回の定例会終了後に予定されております太子町総合教育会議の開催についてです。お手元に開催通知をお配りさせていただいております。定例会終了後に引き続きということで長時間となりますが、非認知能力に関する案件を予定しております。日時については2月26日水曜日、午前10時15分からとなっております。場所に

教育総務課
武部課長

つきましては町立生涯学習センター太子の森の3階、研修室2で開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

次に2点目、点検と評価についてです。ホッチキス留めの2枚資料をお配りしておりますので、ご確認ください。

まず、スケジュール変更についてご説明します。資料1枚目をご覧ください。上段が案、下段が現行となっています。これまでは11月に点検・評価を完成させ、12月議会で報告しておりましたが、今回、8月に完成させ、9月議会での報告に前倒ししたいと考えています。9月議会では昨年度の決算報告があり、点検・評価の報告の中にも決算に絡む部分がありますので、それらを一緒に行うことで、決算に関連した質問等にも対応しやすくなると考えています。

次に、シートの変更についてです。資料の2枚目をご覧ください。左側が案、右側が現行です。主な変更点として、まず一番上に教育大綱の基本目標を配置しました。その下に点検の評価項目、施策の概要を記載しています。さらに、1.当該年度の目標、2.主な取り組み状況及び成果、3.課題と今後の方向性という構成に整理しました。従来は評価委員の意見をシート内に直接記載していましたが、今後は意見を別途まとめる形に変更する予定です。

また、点検と評価の内容についても、できるだけ簡潔でわかりやすい記載を心がけたいと考えています。これまでは、内容が細かすぎたり重複している部分もあったりといった課題がありましたので、その点も整理して反映させる方針です。

また今後、この様式についてご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

東條教育次長

若干補足ですけれども、十数年前の法改正により、教育委員会の点検と評価を作成することが義務づけられましたが、各市町村の教育委員会でフォーマットや作成方法にばらつきがあるのが現状です。今回、他市町村の作成状況や議会への報告内容を参考にして再検討したところですが、我々の作成方法では、資料を前方にまとめて点検と評価部分を後ろに配置し、評価委員の意見を長々と記載する形でしたが、実際他市町村ではこの方法が一般的ではなく、多くの自治体では、点検と評価に特化した部分と、評価委員が項目ごとに整理した内容を後ろにまとめる形式が採用されていました。

これまでのように1項目ごとに長文を並べるスタイルでは、論点がぼやけてしまう課題があったため、見やすく、焦点が明確に伝わるような様式を作成することを意識し、他市町村の良い部分を取り入れて改善を行いました。

また、議会への提出が求められているため、作成した資料は議会で報告しております。多くの自治体では、決算と合わせて9月議会で報告し

東條教育次長

ていますので、できるだけそのスケジュールに合わせて進めていきたいと考えています。

これまでの作業を踏まえ、実績や積み上げてきた成果はそのまま残しつつ、点検と評価を前に持ってきて、資料を見やすく整理しました。

教育総務課
学務指導担当
竹井課長

続いて、学務指導担当からの報告をいたします。

お手元にお渡ししております『町立学校園幼小中一貫教育取り組みのご報告』について説明させていただきます。こちらは先日完成したばかりの冊子です。令和4年度から非認知能力を柱とした幼小中一貫教育を推進し、今年度で3年目を迎えました。3年間で1サイクルとして第1期が終了するタイミングにあたるため、今回ご報告させていただきます。

1年目は教職員の交流を中心に、太子町の学校園で目指す子ども像を設定しました。2年目は子ども同士の交流に焦点を当て、幼小接続、小学校間の交流、小中接続に取り組みました。3年目にあたる今年度はカリキュラムの交流を中心とし、小学校6年生と中学校1年生が11月に探究学習を通じて発表する形式で進めました。

取組み開始当初は、教職員の間には「新しいことをしなければならない」という考えがありましたが、3年間これまで先生たちが行事を通して育みたいと考えてきた力が、非認知能力に通じることに気づきました。現在、各学校園では特色ある取組みが進められています。

昨日、京都府城陽市から太子町の非認知能力育成への取組みに関心を持たれ、教務主任会や指導主事を含む11名の方が視察にいらっしゃいました。事務局からは幼小中一貫教育の実態と成果について報告し、その後、山田小学校を見学していただきました。非認知能力という言葉は小学校ではやや難しいため、現在は心の力と表現し、クラスや廊下の掲示等を通じて可視化する取組みについてお伝えさせていただきました。次に磯長小学校へ移動し、学校長・主席から『シナレンジャー』というレンジャー隊を活用した劇や動画を通じた取組みについて説明がありました。この活動は子どもたちにも好評で、先生たちも楽しみながら取り組んでいるところをお伝えさせていただきました。

視察に来られた方々からは「こういうものを見たかった」という声を頂き、非常に感銘を受けた様子でした。また、視察を通して各学校でも活動の整理や言語化が進み、自分たちの取組みが認められることで活気に繋がることも実感しました。

以上で報告を終わります。

生涯学習課
松岡課長

1月1日、二上山元旦初登りということで、体育連盟主催で実施し、今年は初日の出が見れました。

1月13日、太子町二十歳を祝う会です。式典を万葉ホール、交流会

生涯学習課
松岡課長

を町民ホールで行いました。対象者 154 名のうち、男性 70 名、女性 63 名、合計 133 名の参加がありました。町内在住者の参加率は 81.8% ということで、令和 6 年の 73.6%、令和 5 年の 75.3% と比べると参加率が上がっております。

1 月 19 日、新春ジョギング大会を行いました。参加者の内訳ですが、一般の部 5 キロが 3 名、一般の部 3 キロが 2 名、小学生男子の部が 51 名、小学生女子の部が 8 名、ファミリーの部が 2 組 5 名でした。

1 月 25 日、新春ボウリング大会ということで、ボウルアロー八尾店にて行いました。34 名の参加がありました。

続きまして行事予定です。

2 月 8 日、ボーク重子さん講演会ということで、別紙をご覧ください。非認知能力育成のパイオニアでいらっしゃるボーク重子さんの講演会を PTA 連絡協議会主催で行います。皆様に参加していただけるように、土曜日に設定しております。場所は万葉ホールで、100 名程度入れるようにご用意しておりますが、参加者がさらに多い場合は増席しようと思っております。住民人権課や子育て支援課等、他の課の団体等にも連絡しており、どなたでもご参加いただけるようになっておりますので、ご都合がよろしければぜひご参加ください。

2 月 11 日、アイススケート教室ということで、体育連盟主催で行います。場所は例年どおり尼崎スポーツの森で行います。

2 月 19 日、竹内街道歴史資料館友の会歴史講座ということで、こちらも別紙をご覧ください。珂憶上人と江戸時代の仏教-安福寺・西方院・聖徳太子-という演題で、柏原市立歴史資料館学芸員の越智勇介さんに生涯学習センターにてご講演いただきます。これまで、竹内街道歴史資料館友の会については土日や休日に開催していましたが、今回は試みとして平日の水曜日に行い、参加者の変動を見ようと考えております。一般の方にも参加していただけるようになっており、事前申込み制で定員は 70 名程度としております。

生涯学習課からの報告は以上です。

中道教育長

各課からの報告につきまして何かご質問等ございませんか。

上籾教育長
職務代理者

二十歳の祝う会について、役場前等、交通誘導員の配置がなかったと思います。

ここ 10 年ほど参加していますが、今回初めて、長いリムジンのような車で参加する方がいらっしゃいました。その車が役場前のロータリーに入ることができずにロータリー前に駐車し、役場にきた時間も開始時間ギリギリで、後には着物を着ているため役場のロータリーで降車しようとする人が多く続き、交通面で危険な状況がありました。今回は事故が無く本当に良かったのですが、これについては対策が何か必

上 籾 教 育 長
職 務 代 理 者

要ではないかと思えます。

生 涯 学 習 課
松 岡 課 長

現状、バスが着く時間については職員がバス停近くに行くようにし、車両の誘導等を行なっているところですが、リムジンで来るのは想定しておりませんでしたので、今後誘導員の配置等対策をする必要があると考えているところです。それ以外でも、二十歳を祝う会の看板の前で写真撮影しようとする人が続き、入り口前で人が溜まってしまう状況がよくありますので、その点も踏まえて係員の配置を検討して参ります。

中 道 教 育 長

他に何かご質問等ございませんか。

金 井 委 員

SNS 教育についてありましたが、現代の SNS というのは、見るべきでない情報であってもどんどん止まらずに流れてきますし、情報が入りすぎるとというのが非常に問題だと感じております。太子町の近隣においても、大麻の販売といった闇バイトを通じて若者が逮捕された事案等も聞きます。

デジタルタトゥー等 SNS 利用に関する指導が行われていることは存じていますが、携帯電話との適切な付き合い方について、指導機会がさらに広がればと思います。特に、親が積極的に参加していくべきだと感じており、例えば、特定の時間帯に使用を制限するスクリーンセーバーの活用や、事前登録によるアプリ管理等、具体的な対応方法を知る機会があると助かります。

教 育 総 務 課
学 務 指 導 担 当
竹 井 課 長

先日、山田小学校で篠原さんの講演がありましたが、講演内容は、人権やキャリア教育に繋がる話で、非常にわかりやすかったです。児童たちも帰宅後に、「今日の講演、めっちゃめっちゃ楽しかった」と話していたそうです。学校で人権について触れることはあまりないため、非常に貴重な機会だったと思います。

来年度、山田小学校で土曜参観があり、その保護者向けにも篠原さんが講演を行う予定です。今回は私も全部は聞いていませんが、篠原さんの話を聞いていて、息子にも聞かせてあげたいと感じました。

篠原さんの講演で印象的だったのは、現代の子どもたちが直面している問題について触れていた点です。例えば、3歳児が親の暗証番号を使ってスマホやタブレットを操作できる時代になっていることです。このような時代に、子どもたちが使うデバイスについて、幼少期から親と一緒に学ぶ必要があると強く感じました。

特に、中学生になると、これらのデバイスの制御が難しくなると感じています。子どもが早い段階でデバイスに慣れてしまうと、後々、取り

教育総務課
学務指導担当
竹井課長

上げたとしても制御が効かなくなる恐れもあります。このような時代に、子どもたちが使うデバイスについて、幼少期から親と一緒に学ぶ必要があると強く感じています。

上籾教育長
職務代理人

保護者は人権についてある程度の理解がありますが、子どもたちにはまだその意識が浸透しきっていないと感じています。子どもたちは現在のアプリや SNS に非常に詳しいのに対して、保護者はその内容にあまり精通していないため、子ども向けと保護者向けで伝えるべき内容に違いが生じるという点が、金井委員が言いたかったことではないかと思います。

例えば、現在のアプリでは連絡が来たらすぐに写真を撮って送るというような機能があるけれども保護者はそのことを全く知らない、さらに子どもたちは「このアプリはこういうものだよ」とは説明せず、自然に使いこなしています。このような現状を保護者に伝え、理解してもらうことが大切だと思っています。

また、子どもたちが SNS に投稿した内容は長期間残り続けて、そのリスクが人権問題に関わってくることもあります。投稿した情報がその後もずっと残り続けることの危険性をきちんと理解し、その先に闇バイト等の問題にも繋がるということをきちんと伝えるべきだと思います。この点については、保護者向けの講演で少し異なる重点を置いて伝える必要があると思っています。少し飛躍した考えかもしれませんが、保護者向けに特化した講演を行える講師を見つけていただけると、より効果的になるのではないかと思います。

中道教育長

町立幼稚園の園児でも、とても器用にスマートフォンを使いこなしています。それほど使っていると、小学生になってくると、さらにステップアップしていくので、危ない世界に進んで行かないように気をつけないといけないですね。家庭教育もあります。学校でも子どもたちにしっかりと教育を行っていく必要があります。

上籾教育長
職務代理人

2、3年前の話ですが、身近なところで子どもたちが SNS やスマホの使い方をめぐり、重大な事案を起こしてしまったことがありました。

先生方も SNS やスマホの使い方について丁寧に指導して下さっていて、かつ家庭でも夜のスマホ利用を禁止したり、何度も繰り返し「あれだけ言ったのに」と思うくらい伝えたりしていても、それでもうまく伝わらずに危険な事案を起こしてしてしまうことがあり、完璧な教育はなかなか難しいと痛感しています。教育というのは本当に奥深く、難しい問題だと改めて感じました。

- 中道教育長 その他に何かご意見、ご質問等ございませんか。
- 東條教育次長 少しご報告なのですが、磯長小学校に転入される子どもさんのお話で校長先生からの情報なんですけども、各市町村でどこに転入しようかなって考えたときに、太子町の幼小中一貫教育や非認知能力への取り組みを見て決めましたという喜ばしい声を聞きました。ここで皆様にご報告させていただきます。
- 東條教育次長
- 山崎委員 全部が全部をホームページに掲載するのは難しいかもしれませんが、住む場所を探すときに、学校や町のホームページを見て選ぶ人は一定数いるので、ホームページ等を活用した発信は大切だと思いますし、それを見て来てくださるのはありがたいですね。
- 上籾教育長
職務代理者 先ほどの学校視察についてですが、そのような視察がたくさんあると、頑張られている先生方も背筋が伸びる思いがあるのではないでしょうか。私自身も太子町に住んでいるだけで誇らしい気持ちが湧いてきます。
- 東條教育次長 上籾委員から「保護者にも全然伝わっていない」とご指摘もいただきましたが、担当もかなり努力して情報発信を行いました。その結果が少しずつ現れてきているのかなと感じています。
- 中道教育長 今までも発信してきましたし、これから2月に入りますが、今後も継続して発信し続けていきたいなと思っております。
- 中道教育長 その他に何かご意見、ご質問等ございませんか。
- 中道教育長 無いようですので、本日の日程はすべて終了しました。
 今回は、2月26日火曜日午前9時30分から開催させていただきます。よろしくお祈いします。

会議録の署名

教育長

委員